

第13回 (2013年度)**グリーン・サステイナブル ケミストリー賞
経済産業大臣賞、文部科学大臣賞、環境大臣賞
業績募集**

公益社団法人新化学技術推進協会 グリーン・サステイナブル ケミストリー ネットワーク会議(略称: JACI GSCN 会議)は、第13回グリーン・サステイナブル ケミストリー賞(略称:GSC 賞)の候補者を募集致します。

GSC 賞は、グリーン・サステイナブル ケミストリー(略称:GSC)の推進に貢献のあった個人、団体にお贈りしております。経済産業大臣賞は産業技術の発展に貢献した業績に、文部科学大臣賞は学術の発展・普及に貢献した業績に、環境大臣賞は総合的な環境負荷削減に貢献した業績に、それぞれ授与されます。奮ってご応募下さいますようお願い致します。再応募も歓迎します。

第3回 (2013年度)**グリーン・サステイナブル ケミストリー
奨励賞(GSC 奨励賞) 募集**

公益社団法人新化学技術推進協会 グリーン・サステイナブル ケミストリー ネットワーク会議(略称:JACI GSCN 会議)では、財団法人化学・バイオつくば財団の表彰事業の趣旨*を継承して「GSC 奨励賞」を設け、GSCの推進に期待できる業績に対して表彰を行っております。今般、第3回 GSC 奨励賞を募集致します。奮ってご応募下さいますようお願い致します。再応募も歓迎します。

*財団法人化学・バイオつくば財団主催の「化学・バイオつくば賞」(化学およびバイオ関連分野で、独創的研究、創造的技術開発に授与されていた)の趣旨を引き継ぎ、ドルトン像の刻印された盾および表彰状を贈呈するものです。

申請書様式、表彰規程、過去の GSC 賞及び GSC 奨励賞については JACI のホームページ(<http://www.jaci.or.jp>)、「GSCN」「表彰」のページに掲載しておりますのでご参照願います。

GSC 賞 募集要項

1. 受賞対象

GSC の推進に大きく貢献した業績

以下のカテゴリー別に募集・審査する。

カテゴリー(A)

製品の製造過程・使用形態・使用後の処理過程における人の健康・安全に資するまたは環境に対する負荷を低減させようとする化学技術関連分野において独創的な研究開発で、事業化実績のあるもの

カテゴリー(B)

新規概念・手法の開拓、あるいは新規現象の発見または解析・解明であって、カテゴリー(A)の技術開発の飛躍的展開を促す科学的基盤の分野において独創的な研究

カテゴリー(C)

GSC の技術開発・科学研究の成果の普及、関連する社会制度の実現、あるいは教育・啓発等における活動実績

受賞対象に該当する技術・製品の例を以下に示す。

- ① 化学製品の全ライフサイクルを通じて投入される資源・エネルギーの総量を低下させる技術
(合成法、代替溶媒、分離、プロセス、バイオ技術、触媒、シミュレーション技術、等)
- ② 危険性、有害性を低減した製品やリスク・副産物発生を極力排除した製造技術
(代替溶媒、合成法、プロセス、バイオ技術、触媒、リサイクル、浄化・修復、等)
- ③ 再生不可能な原料を再生可能なものに置き換える技術および製品
(バイオマス利用、新エネルギー、等)
- ④ エネルギーの削減および環境負荷の低減に貢献する製品およびシステムの鍵となる材料・技術

2. 応募資格

- (1) わが国における GSC の推進に貢献のあった個人、法人および任意団体とし、複数の個人、法人および任意団体による応募も可とする。但し、1 業績に対して 5 個人・法人・団体を上限とする。
- (2) 公益社団法人新化学技術推進協会の会員またはそこに所属するものであることを要しない。
- (3) JACI/GSC シンポジウム(GSC シンポジウム)でポスター発表したことがある業績であること。但し、次回 JACI/GSC シンポジウム(2014 年 5 月 22~23 日予定)においてポスター発表するものも可とする。
- (4) 研究や開発活動の終了から概ね 5 年を経過していない業績であること。但し、評価が定まるのに長期を要する業績で、過去 5 年以内に顕著な評価を受けるに至った業績も可とする。
- (5) JACI/GSC シンポジウムでの受賞者講演、ニュースレターへの寄稿等、受賞に関連する JACI GSCN 会議の諸活動に協力する意志を有すること。

3. 表彰の件数

5 件以内とする。

4. 顕彰方法

- (1) 賞記および盾をもって表彰する。表彰は、次回 JACI/GSC シンポジウム(2014 年 5 月 22～23 日予定)に於いて行う。
- (2) 次回 JACI/GSC シンポジウムにおいて受賞者講演を行う。
- (3) 受賞業績を JACI のホームページやニュースレター等を通して広報する。

5. 選考方法

- (1) 一次選考委員会は JACI GSCN 会議を構成する団体から推薦された技術専門委員等からなり、書類審査による選考を行い、候補業績を二次選考委員会に推薦する。
- (2) 二次選考委員会(2014 年 3 月 12 日予定)は各界の有識者からなり、応募者によるプレゼンテーションと質疑による選考を行い、受賞業績を選考する。

6. 選考基準

以下の 7 項目の着眼点に基づいて応募業績の評価を行う。

グリーン度 新規性・独創性 技術・研究の発展性 経済性・実現性
社会的インパクトおよび波及効果 科学的・学術的妥当性 想定されるマイナス点や逆効果がないか

7. 応募要領

- (1) 自薦、または個人、団体による他薦とする。

- (2) 応募提出資料一覧

- ① 申請書 (連名者毎に各人の役割・分担を明記すること。) (様式 1)
- ② 業績の内容を記した文書 (A4 縦用紙に横書き 2,000 字程度)
- ③ 業績の要点を表す説明図 (A4 縦用紙に 1～5 図程度)
- ④ 業績に関連する主要論文・主要特許のリスト (②に引用されたもの) (様式 2)
- ⑤ ④で最重要な論文・特許の写し (各 3 件以内)
- ⑥ 自己評価シート(応募カテゴリー毎にシートが異なる。) (様式 3)
- ⑦ 使用する主要化学品および製品の安全に関する情報
(当該技術においてキーとなる化学品および特殊な化学品に関する SDS、等) (様式 4)
- ⑧ ライフサイクルアセスメント (簡易型ライフサイクルデータ作成用シート) (様式 5)

(注 1) 様式 1～5 は、JACI のホームページ(<http://www.jaci.or.jp>)、[GSCN][表彰]ページからダウンロードし、使用すること。(様式 1 は、ホームページで直接入力すること。)

(注 2) 様式 5 については、他の方法でライフサイクルアセスメントを実施している場合は、その資料を様式 5 の代わりに提出することを可とする。なお、カテゴリー(C)については、義務ではない。

(注 3) 紙資源、炭酸ガス等の環境負荷低減に資するため、資料は論文等も含め電子情報を電子メールで送付すること。

- (3) 応募締切り

2013 年 11 月 15 日(金) 17 時 必着

- (4) 応募書類の送信先

(公社)新化学技術推進協会 GSC 賞事務局 gscn1@jaci.or.jp

GSC 奨励賞 募集要項

1. 受賞対象

近い将来、GSC の推進に貢献が期待できる業績

以下のカテゴリー別に募集・審査する。

カテゴリー(A)

製品の製造過程・使用形態・使用後の処理過程における人の健康・安全に資する、または環境に対する負荷を低減させようとする化学技術関連分野において独創的な研究開発

- ・ GSC の推進に貢献しているスモールビジネスの業績の応募も歓迎します。
- ・ 事業化前であっても、将来的な貢献が期待できる技術も対象とします。
- ・ 産学連携による成果の応募も歓迎します。

カテゴリー(B)

新規概念・手法の開拓、あるいは新規現象の発見または解析・解明であって、カテゴリー(A)の技術開発の飛躍的展開を促す科学的基盤の分野において独創的な研究

- ・ 若手研究者からの応募を歓迎します。
- ・ 産学連携による技術開発が期待される研究成果を歓迎します。

受賞対象に該当する技術・製品の例を以下に示す。

- ① 化学製品の全ライフサイクルを通じて投入される資源・エネルギーの総量を低下させる技術
(合成法、代替溶媒、分離、プロセス、バイオ技術、触媒、シミュレーション技術、等)
- ② 危険性、有害性を低減した製品やリスク・副産物発生を極力排除した製造技術
(代替溶媒、合成法、プロセス、バイオ技術、触媒、リサイクル、浄化・修復、等)
- ③ 再生可能な資源を利用する技術および製品
(バイオマス利用、新エネルギー、等)
- ④ エネルギーの削減および環境負荷の低減に貢献する製品およびシステムの鍵となる材料・技術

2. 応募資格

- (1) GSC の推進に貢献の期待できる個人、法人および任意団体とし、複数の個人、法人および任意団体による応募も可とする。但し、1 業績に対して 5 個人・法人・団体を上限とする。
- (2) 公益社団法人新化学技術推進協会の会員またはそこに所属するものであることを要しない。
- (3) JACI/GSC シンポジウム(GSC シンポジウム)でポスター発表したことがある業績であること。但し、次回 JACI/GSC シンポジウム(2014 年 5 月 22~23 日予定)においてポスター発表するものも可とする。
- (4) 研究や開発活動の終了から概ね 5 年を経過していない業績であること。但し、評価が定まるのに長期を要する業績で、過去 5 年以内に顕著な評価を受けるに至った業績も可とする。
- (5) JACI/GSC シンポジウムでの受賞者講演、ニュースレターへの寄稿等、受賞に関連する JACI GSCN 会議の諸活動に協力する意志を有すること。

3. 表彰の件数

5 件以内とする。

4. 顕彰方法

- (1) 賞記および盾をもって表彰する。表彰は、次回 JACI/GSC シンポジウム(2014 年 5 月 22～23 日予定)において行う。
- (2) 次回 JACI/GSC シンポジウムにおいて受賞者講演を行う。
- (3) 受賞業績を JACI のホームページやニュースレター等を通して広報する。

5. 選考方法

- (1) 選考委員会は JACI GSCN 会議を構成する団体から推薦された技術専門委員等よりなり、書類審査による選考を行う。
- (2) 以下の 7 項目の着眼点に基づいて応募業績の評価を行う。
グリーン度 新規性・独創性 技術・研究の発展性 経済性・実現性
社会的インパクトおよび波及効果 科学的・学術的妥当性 想定されるマイナス点や逆効果がないか

6. 応募要領

- (1) 自薦、または個人、団体による他薦とする。
- (2) 応募提出資料一覧
 - ① 申請書 (連名者毎に各人の役割・分担を明記すること) (様式 1)
 - ② 業績の内容を記した文書 (A4 縦用紙に横書き 2,000 字程度)
 - ③ 業績の要点を表す説明図 (A4 縦用紙で必要に応じて数枚以内)
 - ④ 業績に関連する主要論文・主要特許のリスト (②に引用されたもの) (様式 2)
 - ⑤ ④で最重要な論文・特許の写し (各 3 件以内)
 - ⑥ 自己評価シート (様式 3)
- (注 1) 様式 1～3 は、JACI のホームページ(<http://www.jaci.or.jp>)、[GSCN][表彰]ページからダウンロードし、使用すること。(様式 1 は、ホームページで直接入力すること。)
- (注 2) 紙資源、炭酸ガス等の環境負荷低減に資するため、資料は論文等も含め電子情報を電子メールで送付すること。
- (3) 応募締切り
2013 年 11 月 15 日(金) 17 時 必着
- (4) 応募書類の送信先
(公社)新化学技術推進協会 GSC 奨励賞事務局 gscn2@jaci.or.jp

グリーン・サステイナブル ケミストリー(略称:GSC)について

GSC の定義

人と環境にやさしく、持続可能な社会の発展を支える化学および化学技術

GSC 活動の指針

化学製品の設計から原料の選択、製造過程、使用、リサイクル・廃棄まで、製品の全ライフサイクルを見通し、地球環境と生態系への負荷を小さくし、安全・安心で豊かな持続可能な社会を実現する化学技術の確立と製品の創出を目指す。

GSC の事例

- (1) エネルギーと資源の消費量を低減する化学技術および製品
 - ・ 技術：高選択的触媒反応、バイオミメティックな合成プロセスなど
 - ・ 製品：軽量化による省エネルギー製品など
- (2) 副生成物や廃棄物の発生量を低減する化学技術および製品
- (3) 汚染・有害物質の排出を抑止する化学技術および製品
- (4) 環境負荷を低減する分離・精製・リサイクルのための化学技術
- (5) 温室効果ガスの発生量、環境への放出を低減する化学技術および製品
- (6) 枯渇資源(エネルギー、希少資源)への依存度を低減する化学技術および製品
 - ・ 代替エネルギー資源の活用(植物由来、自然エネルギーなど)
 - ・ エネルギー(電力)の貯蔵・活用
 - ・ 希少資源の回収・活用と代替資源の活用
- (7) GSC に関する評価方法・ライフサイクルアセスメントの確立と普及

<JACI GSCN 会議構成団体>

(一財)化学研究評価機構	(公社)化学工学会	(一社)化学情報協会	関西化学工業協会
(一社)近畿化学協会	ケイ素化学協会	合成樹脂工業協会	(公社)高分子学会
(公社)高分子学会高分子同友会	(独)産業技術総合研究所	次世代化学材料評価技術研究組合	(一社)触媒学会
石油化学工業協会	(公社)石油学会	(公財)地球環境産業技術研究機構	(公社)電気化学会
日本界面活性剤工業会	(公社)日本化学会	(一社)日本化学工業協会	(一社)日本ゴム協会
(公社)日本セラミックス協会	(社)日本電子回路工業会	(社)日本塗料工業会	日本バイオマテリアル学会
(公社)日本分析化学会	(社)日本分析機器工業会	(公財)野口研究所	(一財)バイオインダストリー協会
(一社)プラスチック循環利用協会	(公社)有機合成化学協会	(独)理化学研究所	

お問い合わせ先 公益社団法人新化学技術推進協会
〒102-0075 東京都千代田区三番町2番地
TEL : 03-6272-6880 FAX : 03-5211-5920